

## 視察調査・研修会等報告書

令和 6 年 4 月 22 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎佳之 様



議員氏名(大内 晃子)

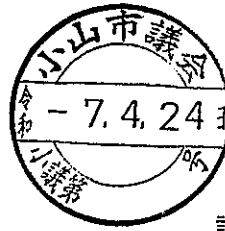
研修・視察日時	令和 6 年 4 月 13 日
研修会場・視察先	市川房江記念館女性と政治センター オンライン参加
研修名・視察目的	日本の選挙セミナー 第1回 ここがおかしい日本の選挙 女性が出やすい選挙にするには？
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	
調査概要	日本の選挙が抱える問題点を公職選挙規制やネット選挙、女性にとって出やすいか等をテーマとし、新しい選挙を実践してきた議員と公職選挙法の専門家との討論から学ぶ。 パネリスト ・五百蔵洋一氏 (弁護士) ・鈴木規子氏 (愛知県西尾市議会議員) ・川久保皆実氏 (つくば市議会議員) モデレーター ・三浦まり氏(上智大学法学部教授)
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	小山市において現在女性議員が6名、前回から1名減ってしまっていることや立候補した女性が男性より圧倒的に少ないことの原因を考えると、他地方での新しい選挙のやり方やネット選挙を学び、女性も立候補しやすい、時代にあった選挙の在り方を学ぶことができた。女性議員を増やすため立候補しやすい環境を整えていく必要があることを理解した。今後、ネット選挙が進んでいくことも想定し、小山市の投票率の向上や女性議員を増やす取り組みを考えていく際、公職選挙法の分かりにくさも理解した上で、今回の学びを参考にしていく。

## 視察調査・研修会等報告書

令和 7年 4月 24日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎佳之様



議員氏名(大内晃子)

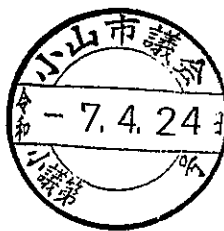
研修・視察日時	令和6年6月20日
研修会場・視察先	東京都港区 sibaura house
研修名・視察目的	これからの性教育を考える
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	
調査概要	<p>これからの性教育について  講師: 公立小学校養護教諭 篠原美香氏  助産師 櫻井裕子氏</p> <p>第1部 若者の意識を知る  第2部 学校における性教育の今を知る  第3部 ILADY.ツール体験ワークショップより、自身の SRHR を考える</p>
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	<p>望まぬ妊娠や乳幼児の遺棄事件などがあった当市における、SRHR(性と生殖に関する健康と権利)への理解を深める必要性を感じている。当研修により、性と生殖について、一人一人に適切な知識をもち、子どもを産む産まない、いつ、何人などと、自身の身体について自己決定権を持ち、必要なヘルスケアを受けられる環境を具体的に整えていくのに、カードを使ったワークショップの効果や講師による、現在の性教育の在り方を学んだ。参考にさせていただき、市政に反映させていく。</p>

## 視察調査・研修会等報告書

令和7年4月24日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎佳之様



議員氏名 大内晃子

研修・視察日時	令和6年8月6日
研修会場・視察先	大阪府箕面市
研修名・視察目的	事業所内保育所について
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	箕面市役所 総務部人事室 室長 [REDACTED] 箕面市役所 総務部人事室 人事研修グループ長 [REDACTED]
参加議員(同行者)	石川議員
調査概要	<p>住みやすさランキング(東洋経済新報社)において大阪府上位にランクインしており、人口規模も当市と近く、自然豊かな箕面市での、子育て世代での市職員の働きやすさに、事業所内保育所の有効性について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設立の経緯と当時の課題</li> <li>・運営していく中での課題やトラブル</li> <li>・使用状況や利用者数の推移</li> <li>・設置費用及び運営費用 等</li> </ul>
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	<p>大規模災害発生時における、職員の子どもの預かり場所の確保と女性職員が育児休業から復職する際の子どもの預かり場所の確保から、箕面市役所から第3別館(本庁から徒歩7分程度)の元会議室を改修し2400万円の初期投資の元、設立された経緯となっている。</p> <p>実際、職員の利用は少ないが、人材確保(職員の働きやすさや子どもをもっても安心して働ける環境がある)のPRとなり、女性技師の確保にいたった実績もあった。</p> <p>当市においても、災害時等の子育て世代の職員の確保やまた共働きにおける働きやすさの充実を図るために、参考にしていく。</p>

## 視察調査・研修会等報告書

令和 7年 4月 24日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎佳之様



議員氏名(大内晃子)

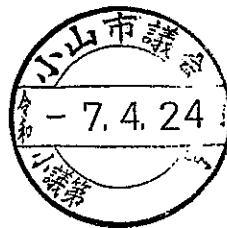
研修・視察日時	令和6年8月6日
研修会場・視察先	大阪府箕面市
研修名・視察目的	箕面市立文化芸能劇場
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	石川議員
調査概要	視察候補の施設ではあったが、箕面市の視察受け入れの事情により、視察としては伺えなかった。当市における、文化センターの建て替えが検討される中で候補地となりえる、駅周辺の再開発により整備された箕面市文化芸能劇場の様子を外観より見させていただいた。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	駅に直結され、大阪大学キャンパスが同敷地にあり、劇場施設と図書館が一体となっていることから、劇場が利用されていない時でも、常に人が集まっているように感じられた。資料より1401席の大ホールと300席の小ホールとコンパクトにまとめられており、13万人人口規模において、適切な規模にも感じられた。当市において、駅近くに文化センターを検討されることも踏まえて、参考にしていく。

## 視察調査・研修会等報告書

令和7年4月24日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎佳之様



議員氏名 大内晃子

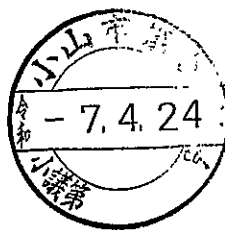
研修・視察日時	令和6年8月7日
研修会場・視察先	大阪府高槻市
研修名・視察目的	高槻城公園芸術文化劇場について
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	高槻市議会事務局 主査 [REDACTED] 市民生活環境部文化スポーツ振興課課長 [REDACTED] 市民生活環境部文化スポーツ振興課主査 [REDACTED]
参加議員(同行者)	石川議員
調査概要	平成25年度 旧市民会館の老朽化、耐震診断の結果により、建替基本計画が策定され、5年3月18日に開館された高槻城公園芸術文化劇場の整備計画と経過について。 当市における、文化センター・市民中央公民館の建替に向けて。 現地建て替えではなく、隣接地への移転として、旧会館の利用を継続しながらの建て替え整備とした経緯について。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	文化センター・市民中央公民館の建替に向けて整備計画が今後、進められることが考えられる中、同様の課題から開館までの経緯と運営について、ハード・ソフト・人の一体整備、理念など、文化芸術の創造発信拠点として、ひと・まち・未来が輝く施設となっている。また、様々な形で市民が参加できる仕組みがあり、当市においても計画が検討される中で参考にしていく。

## 視察調査・研修会等報告書

令和 7 年 4 月 24 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎佳之様



議員氏名 大内晃子

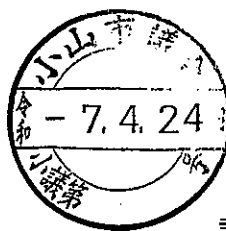
研修・視察日時	令和6年8月8日・9日
研修会場・視察先	全国市町村国際文化研修所
研修名・視察目的	市町村議会議員研修[2日間コース] 自治体予算を考える
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	
調査概要	自治体予算の原則・制度、歳入・歳出予算の基本的事項やチェックポイントについて 財政診断をもとに、持続可能な財政運営方針について 地方公会計の基本的事項を理解し、その活用について 講師:武庫川女子大学経営学部 教授 金崎 健太郎氏
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	市の予算を審議するにあたり、予算の種類やその内容、民間の会計との違いなども含め、必要な知識や視点を深めることができた。 122名の全国市町村議会議員とのグループ討議では、各自自治体により共通・類似する課題、まったく違った課題など、お互いに共有することができ、当市について俯瞰的に考えるきっかけをいただいた。 自治体における予算の原則・制度、歳入・歳出についての基本的事項を身に着け、当市における財政運営の理解をもとに、当市における予算審議に反映させていきたい。

## 視察調査・研修会等報告書

令和7年4月24日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎佳之 様



議員氏名(大内 晃子)

研修・視察日時	令和6年10月9日～令和6年10月10日
研修会場・視察先	岩手県盛岡市トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)
研修名・視察目的	全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	山野井議員 石川議員
調査概要	<p>主権者教育の新たな展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演 講師 菅 義偉 (ビデオメッセージ)</li> <li>・パネルディスカッション「地方議会の課題と主権者教育」            コーディネーター 静岡大学教授 井柳美紀氏            パネリスト 法政大学教授 土山希美枝氏            (一社)WONDER EDUCATION 代表 越智大隆氏            読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局 渡辺嘉久氏            盛岡市議会議長 遠藤政幸氏</li> <li>・課題付議「主権者教育の取組報告」            コーディネーター 東北大学大学院教授 河村和徳氏            例報告者 伊那市議会前 白鳥俊明氏            四日市市議会議長 諸岡覚氏            山鹿市議会議長 服部香代氏</li> </ul>

## 視察調査・研修会等報告書

市政の課題等に対し  
どのように参考になるか、  
所感等

パネルディスカッションでの「地方議会の課題と主権者教育」では、大学法学部教授をはじめ、民間の社団法人での活動など、様々な視点での主権者教育に関わる方からの活動を通して見えてくる、若い世代の考えや議会における主権者教育の課題など、知ることができた。

若い世代が選挙や政治に関心がないわけではなく、関心はあるがどのように関わればよいのか分からない、選挙においては、候補者のことをよくわかっていないのに票を投じることへの不安がある。

また、そもそも、2元代表制の仕組みや理解が足りておらず、投票することが主権者教育の目的になっていないか、教育の専門家ではない議員が主権者教育を子どもたちにすることへの疑問が呈されていた。

改めて、当市議会で行う主権者教育の内容と目的については、確認しながら進め、若者は選挙に関心がないという思い込みにとらわれず、多くの若者の声を聞くために市議会が持つスキル等を子どもたちに提供し、相手が求めていることに答えられるよう行動していくことは、必要と感じられた。

課題付議での、各市議会での取り組みは、ぜひ小山市でも市でできる形で実施したいと思える、好事例が多くみられた。中でも、四日市市議会の出前型意見交換会「ワイ！ワイ！GIKAI」の取組では、選ばれた人で決められた形で議会報告会をするのではなく、学校や学生の意向に沿った内容を形にしていき、特別支援学校にも出向いていく意見交換会は、なかなか声を届けにくい所に目が届き、生の声を聞くことができる必要な機会を創出できることが期待できるため、小山市に取り入れていきたい内容であった。こどもたちの夏休みの宿題や自由研究に活用できるようにも考えられていた。主権者とともに市議会も学んでいくという姿勢は、しっかり身に着けていきたいと感じた。

報告会を実施するだけでなく、議会だより#こども号を発行していたことが、印象的だった。小山市の議会だよりでは、議会の仕組みと共に中学生模擬議会や高校生議会報告会の報告を分かりやすくまとめた学生向け議会、各中学校、高校に届けられれば、効果的な主権者教育につながるのではないかと考えられるため、広報委員会に提案していきたい。

立候補体験や行政主体の政治塾ができないか？

山鹿市の取組では、民主主義を伝えるために絵本を活用している事例があり、小山市においても活用していきたい。

好事例を参考にしながら、小山市でできる形、相手の望むことをかなえていく姿勢を見せることを検討していく。